

やすらぎ学級 第8講座

頭と体を使ったゲーム、閉講式、昼食会

3月13日、本年度最終のやすらぎ学級は、第8講として、草津市スポーツ推進委員の岡山茂子さんを講師にお迎えして、参加者が3チームに分かれて、頭と体を使ったゲーム3種に挑戦しました。

- ① モルック 数字の書かれた木の棒を立て、順番に棒を投げて倒します。倒した棒に書かれた数字や、倒した本数によって点数が入り、25点（通常ルールでは50点）ぴったりになったら勝利となります。1点でもオーバーすると15点に減点になるので、ハラハラするゲームです。
- ② 人間ビンゴ 1から8までの数字の書かれた3×3のマスの中に（真ん中は除く）、8面のサイコロを振って出た数字のところに入ります。最終的にはマスに入った人でビンゴが出来たかどうかで勝負が決まります。
- ③ ゴルフボールに紙コップをかぶせたものを3台並べた長机の端から転がし、反対側の端から40センチの間に止められるかどうかを競います。力の加減が難しいですが、上手くいくと満足感が大きく、皆さん夢中になっていました。

ゲームの後は修了式、そのあとは昼食会、久しぶりに皆さんでお弁当を食べました。今年度はこれで終了です。新年度も多くの方の受講をお待ちしています。



モルックのピン



1本倒すとそのピンの数字が、2本以上倒すと倒した本数が得点になります。3, 5, 7, 11が倒れましたが、4本なので得点は4点。



人間ビンゴの様子